

是と馳走の万城後（一矢射んとたれど）
軍ハる姓も傳もあ合ぬ（只おめく）と歎く
とれんよりハ我亦ハ一致して後の悲貴
は輕りゆ（と福一りバ尾浦より馳散一玄
た又京田より逃れ一玄た是濃平田より上
より少悲を蒙り一と若とも名を以所を
始て我も一と馳集り於て池田濃平同親
音寺一集る田之橋星川濃平生石金生沃堀
（因彩田月布目の左家延集一て七る余人
我も一と集りると云く）

一三ノ五

三ノ五村より多神大座大明神と稱せ或
人曰大座大明神ハ小お急神社の別号也や
飛騨大急を小お急神社といふ
事大社考又ハ別巻ニ見ゆ 中古け急戰場となり
一此社既玄火の爲に焼れ神社も煨燼と爲
漸盛元の焼跡一を社地ニ安んじ一諸人は
を相と一と云傳（り）予たおに大座ハ急を
より中出一信稱もや吹浦村表の大急
後三ノ五もお急ありて一澤ハ福れを頼月
代市を制し一と大急ハ正月三の日の日